

SAMPLE

別紙②-1

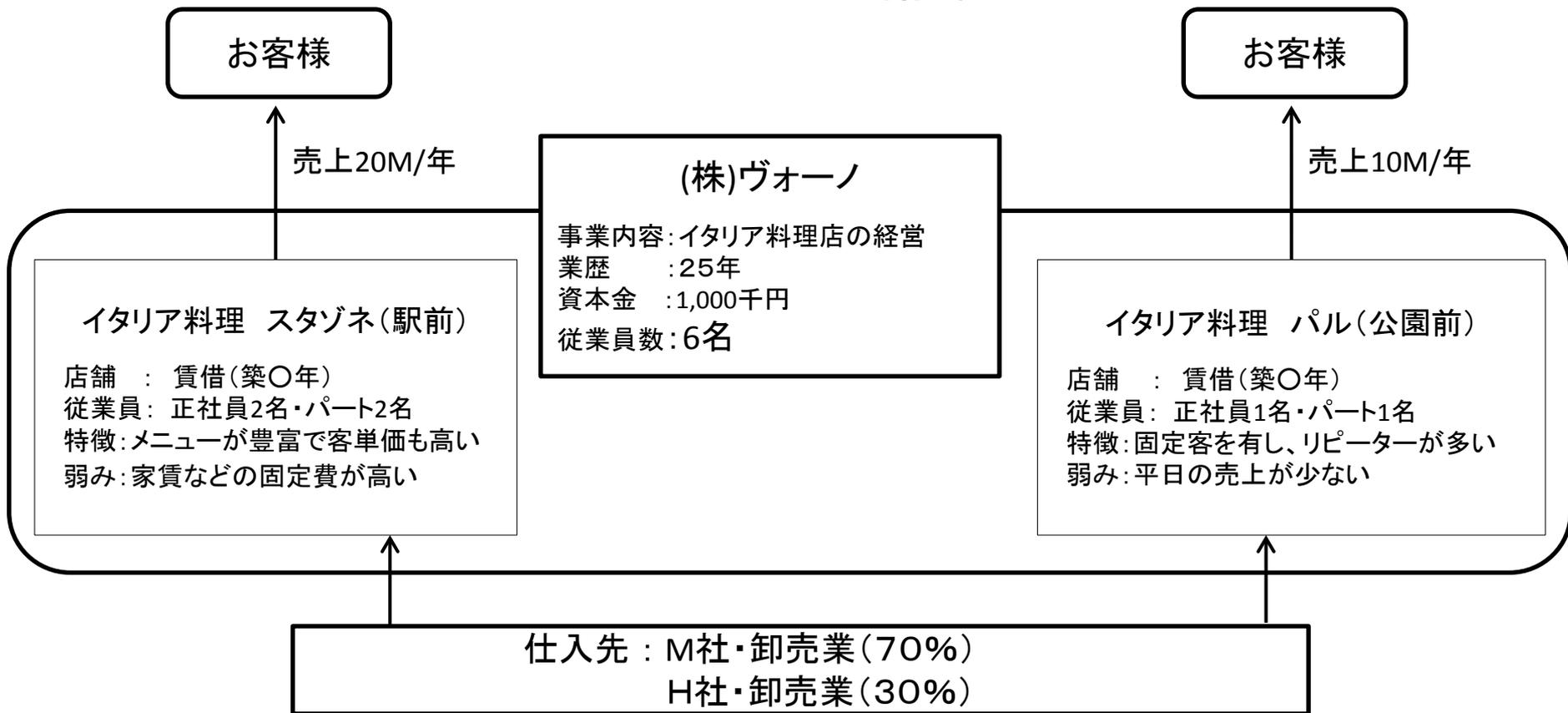
事業計画書

株式会社 ヴォーノ
代表取締役 計画太郎

平成29年●月●日

SAMPLE

《ビジネスモデル俯瞰図》



SAMPLE

《資金実績・計画表》

(単位:千円)

27年9月期	前年 繰越	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
売上高	-	2,400	2,300	3,800	2,800	2,200	2,800	2,800	3,100	2,200	2,100	2,200	2,300	31,000
借入	-	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000
返済	-	280	280	280	280	280	280	280	350	350	350	350	350	3,710
借入金残高	21,560	21,280	24,000	23,720	23,440	23,160	22,880	22,600	22,250	21,900	21,550	21,200	20,850	-
現預金残高	500	600	2,800	1,200	1,200	1,100	1,100	1,200	900	800	800	400	400	-

28年9月期	前年 繰越	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
売上高	-	2,300	2,100	3,700	2,900	2,200	2,200	3,100	3,200	1,900	2,000	2,100	2,300	30,000
借入	-	0	3,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,500
返済	-	350	350	350	350	350	350	350	380	380	380	380	380	4,350
借入金残高	20,850	20,500	23,650	23,300	22,950	22,600	22,250	21,900	21,520	21,140	20,760	20,380	20,000	-
現預金残高	400	400	2,500	1,200	1,000	1,100	1,100	900	800	900	800	900	900	-

29年9月期	前年 繰越	10月	11月	12月	1月 (見通)	2月 (見通)	3月 (見通)	4月 (見通)	5月 (見通)	6月 (見通)	7月	8月	9月	計
売上高	-	2,200	2,300	3,500	2,400	2,300	2,500	3,000	3,000	2,000				23,200
借入	-	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0				3,000
返済	-	380	330	330	330	330	330	330	330	330				3,020
借入金残高	20,000	19,620	22,290	21,960	21,630	21,300	20,970	20,640	20,310	19,980				-
現預金残高	900	700	2,800	1,500	1,400	1,100	1,200	1,000	900	800				-

※今後の見通しについて6ヶ月程度記載すること

※記載欄が不足するときは適宜追加すること

SAMPLE

《損益計画》

(単位:千円)

	直近期	計画0年目	計画1年目	計画2年目	コメント
	28年9期	29年9期	30年9期	31年9期	
売上高	30,000	30,000	30,300	30,300	アクションプラン①より
売上原価	12,000	12,000	11,666	11,666	
(原価率)	40%	40%	38.50%	38.50%	アクションプラン②より
売上総利益	18,000	18,000	18,635	18,635	
(粗利率)	60%	60%	61.50%	61.50%	
販売費・一般管理費	18,500	18,000	17,400	17,200	
(人件費)	12,000	12,000	12,000	12,000	
(減価償却費)	2,000	1,500	1,400	1,200	
(その他経費)	4,500	4,500	4,000	4,000	アクションプラン③より
営業利益	-500	0	1,235	1,435	
営業外収益	-	-	-	-	
営業外費用	800	800	760	720	
(支払利息)	800	800	760	720	
(その他)	-	-	-	-	
経常利益	-1,300	-800	475	715	
特別利益	-	-	-	-	
特別損失	-	-	-	-	
税引前利益	-1,300	-800	475	715	
法人税等	70	70	70	70	
当期利益	-1,370	-870	405	645	
借入金残高	20,000	20,000	19,000	18,000	
簡易CF (当期利益+減価償却費)	630	630	1,605	1,645	

SAMPLE

《アクションプラン》

	主な経営課題
1	店舗毎の客層を把握しておらず、幅広い顧客に対応するための材料を多く仕入れているが廃棄食材も多い
2	料理毎の原価を把握しておらず、利益率などを意識した経営が出来ていない
3	資金不足になると安易に運転資金を調達し、販管費などの見直しが出来ていない

主要課題に対する アクションプランの具体的な内容		実施時期	主担当	計画0期目	計画1期目以降
①	<ul style="list-style-type: none">●両店でどのようなお客様が来店しているかを調べて実態を把握する。●把握した客層を踏まえたメニューを設定して売り上げ増加につなげる。	今期中	店長 認定支援機関	±0	売上+1%
②	<ul style="list-style-type: none">●料理ごとに原価を把握する。●利益率を勘案して「今日のおすすめ料理」を設定する。	①の結果を踏まえて速やかに着手	料理長 認定支援機関	±0	原価率▲1%
③	<ul style="list-style-type: none">●共通費なども考慮した店舗別の損益を把握する。●両店を比較し、販管費の削減につなげる。●社長以外にもこれらについて検討できるよう、後継者についても検討していく	<ul style="list-style-type: none">・当期中に着手・来期中に目処	社長 店長 認定支援機関	±0	販管費▲0.5M